

総合型選抜 基礎学力方式、一般選抜 全学統一入試、一般入試の 本学独自問題の得点調整について(中央値補正法)

本学の総合型選抜 基礎学力方式(筆記試験)、一般選抜 全学統一入試2・3科目方式、一般入試2・3科目方式における本学独自問題の選択科目については、難易度差による不利が生じないように、判定処理を行います。得点調整する場合は、中央値補正法による得点調整を行います。なお、大学入学共通テストおよび外部英語検定試験利用の点数換算値は、得点調整は行いません。

なお調整の際に用いる中央値とは、各試験科目の成績順で中央に位置する人の得点のことです。中央値は平均点と違って極端な高得点や低得点にほとんど左右されることがなく、また、多くの場合、受験者が密集する得点域の中に中央値があるため、問題の難易度をより適正に示す指標として評価されています。本学では、各科目の中央値が、満点の60%になるように全体を補正します。

中央値補正法による得点調整について

席次	素点		席次	補正点	
	日本史 100点	数学 100点		日本史 100点	数学 100点
1	100	100	1	100	100
2	80	70	2	77.1	73.3
3	75	65	3	71.4	68.9
4	70	60	4	65.7	64.4
5	68	58	5	63.4	62.7
6	65	55	6	60	60
7	62	53	7	57.2	57.8
8	60	50	8	55.4	54.5
9	55	48	9	50.8	52.4
10	50	45	10	46.2	49.1
11	45	0	11	41.5	0
平均点	66.4	54.9	平均点	62.6	58.5

数式に当てはめると上の表のような補正点が出ます。

平均点を見れば、科目選択による有利・不利が少なくなったことが分かります。

中央値補正法の計算式

① 素点 < 中央値の場合：
$$\frac{\text{満点の60\%の点数}}{\text{中央値}} \times \text{素点}$$

② 素点 ≥ 中央値の場合：
$$\frac{\text{満点の40\%の点数}}{\text{満点}-\text{中央値}} \times (\text{素点}-\text{中央値}) + (\text{満点の60\%の点数})$$

この得点補正方法では、成績順位が中央付近の人は補正の幅が大きく、満点と0点に近づくほど補正の幅は小さくなります。上の表は、日本史が数学に比べて全体的に得点が高かった例です。